

平成23年度 医療放射線防護連絡協議会年次大会

第22回「高橋信次記念講演・古賀佑彦記念シンポジウム」の開催

主催：医療放射線防護連絡協議会

当協議会の年次大会は、高橋信次先生の名前と古賀佑彦先生の名前を冠にして、今年度も12月の第2週の金曜日に「高橋信次記念講演・古賀佑彦記念シンポジウム」として開催致します。

今回のテーマは「福島原発事故から学ぶ医療放射線安全の課題」として、記念講演は山下俊一先生からは、福島原発事故に伴う放射線の健康影響に関する講演を頂きます。教育講演では、福島原発事故対応の講演があります。また、午後からの「古賀佑彦記念シンポジウム」では、福島原発事故から学ぶ医療放射線安全の課題をテーマに行い、総合討論で、今後の医療関係者に求められていることを参加者の皆様と検討します。医療分野の放射線安全に関わる多くの方々のご参加をお願いします。

日時：平成23年12月9日（金） 10時～16時30分

場所：国際交流研究会館国際会議場（国立がんセンター内）

（プログラム）10:00-

開催の挨拶：佐々木 康人（医療放射線防護連絡協議会会長）

1. 教育講演 10:10-11:00（講演時間40分）

座長：近藤 隆（富山大学大学院）

演題：「福島原発事故の概要と事故対応」

講演者：田中 俊一（元原子力委員会委員長代理）

2. 高橋信次記念講演 11:00-12:00（講演時間50分）

座長：佐々木 康人（協議会会長・日本アイソトープ協会）

演題：「福島原発事故に伴う放射線の健康影響と医療関係者の役割」（仮題）

講演者：山下 俊一（福島医科大学副学長）

3. 古賀佑彦記念シンポジウム 13:15-14:45（講演時間：20各分）

テーマ：「福島原発事故から学ぶ医療放射線安全の課題」

座長：菊地 透（協議会総務理事・自治医科大学）

1) 医療機関の放射線診療装置の課題：（仮題）

平出 博一（日本画像医療システム工業会法規・安全部会安全性委員会委員長）

2) 現地での放射線測定を行った経験から：高橋 克彦（獨協医大RIセンター）

3) 放射線診療分野の放射線安全利用の課題：中村 仁信（彩都記念病院）

4) 原発事故対応と医療放射線安全の見直し：大野 和子（京都医療科学大学）

4. 総合討論：テーマ「福島原発事故から医療従事者に求められること」15:00-16:20

指定発言：星 北斗（星総合病院）、宍戸 文男（福島県立医科大学）

◆参加費：5,000円（懇親会：6,000円）

◆申込方法：FAX. またはEメールでお申し込みください。

◆申込先：医療放射線防護連絡協議会

〒113-8941 東京都文京区本駒込2-28-45 日本アイソトープ協会内

Fax: (03)5978-6434 電話:(03)5978-6433 (月・水・金)

E-mail: jarpn@chive.ocn.ne.jp